特別支援教育ミニ情報誌『ゆめハッピー通信』いろはカルタ
第２９号　Ｈ３１．２　「生徒一人ひとりの能力・才能を伸ばす実践研究」推進チーム

や
安らげる施設・設備を
【実際に高校で行われた合理的配慮の例④】

校内環境のバリアフリー化

◆車椅子を利用する生徒
⇒トイレ入口のスリッパ置き場に色テープを貼り、専用の通路を簡易的に設けた。

障害の特性等に応じた施設・設備の配慮

◆周囲の刺激に過剰反応する生徒
⇒空き教室に暗幕を取り付け薄暗い部屋に替えて、落ち着ける場所を確保した。

災害時への対応に必要な施設・設備の配慮

◆歩行が不自由な生徒

⇒災害発生時にスムーズに避難できるよう、HR の近くに車いすを常時備えておくようにした。

※　次の第 30 号「ま」の発行は、来年度５月頃の予定です。